

大原社会問題研究所五十年史

Ⅴ 戦後

事業軌道にのる

一九五一年以後、研究所の事業も軌道にのり、主として年鑑編集、調査研究、図書資料の集収整理などが進捗した。調査は、産業合理化、労働力構成、労働者教育、失業問題等前年にひきつづくテーマをとりあげたが、五一年度より新に経済学辞典の編集事業が始められた。これは久留間所長が『資本論』その他経済学の古典的文献のなかから重要な概念や法則に関する叙述を抜萃し、これを一定の見地から整理編集しようというもので、この年以後絶えまなく作業がつづけられた(その成果は、一九六八年より『マルクス経済学レキシコン』として発表されるようになるが、それについては後述する)。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#)← [法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】](#) → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)
